



“ゼロ” から

“イチ” を作り出す

上村 光治 かみむら みつはる

任期 令和4年9月～令和7年8月

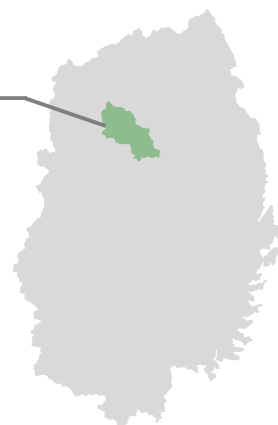
活動内容 農業を軸にした関係人口の創出、援農活動等

出身地 埼玉県加須市

転出元 東京都目黒区



岩手町



REPORT

地域の枠を越え、挑戦を続ける

1 自然豊かな環境と、町民の人柄に惹かれて

令和4年9月に地域おこし協力隊として岩手町に着任した上村光治さんは、友人の紹介で、以前から小・中学校や高校のワークショップの講師として岩手町を訪れており、豊かな自然や地域の方々の人柄に惹かれていました。町から、「協力隊として関係人口づくりの業務を委託したい」と打診を受けたことをきっかけに、協力隊としての活動を開始しました。令和5年4月には、町の関係人口拡大を目指す「いわてまちAチーム」を立ち上げ、援農活動やイベントの企画等を通して町の課題解決に取り組んでいます。



りんごの着色管理作業



とうもろこしの収穫祭

2 町全体を会場としたイベントを開催

岩手町は、世界各国のアーティストが制作した130点以上の石彫が点在している「アートの町」でもあります。近年、そのイメージを持っている町民も少なくなりました。もう一度、「アートの町」だということ呼び起こすために、令和7年8月、町全域を会場としたイベント「ART& CULTURE SYNERGY GATHERING」を初めて開催し、県内外から来場がありました。協力隊卒業後も、同イベントを継続して開催したり、農村RMO(※)を立ち上げるなどして、町の関係人口創出につなげていきたいと考えています。



イベントの様子

(※)複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織のこと